

年間指導計画表

教科・科目	地歴科・日本史B	単位数	4単位
		学科・学年・学級	普通科普通・3年・理型クラス 普通科創造表現コース・3年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
使用教科書・副教材等	①教科書：山川出版社『詳説日本史B』 ②資料集：浜島書店『新詳日本史』 ③史料集：第一学習社『詳録新日本史史料集成』

2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a. 関心・意欲・態度	日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・ノート提出	30%
b. 思考・判断・表現	日本の歴史から課題を見だし、文化の多様性・複合性や日本の特質を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査	20%
c. 技能	日本の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・課題提出 ・ノート提出	10%
d. 知識・理解	世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・ノート提出 ・定期考査	40%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
前期	4	15	○日本文化のあけぼの	遺跡や遺物など様々な歴史的資料の特性に着目し、資料に基づいて歴史が叙述されていることなど歴史を考察する基本的な方法を理解させ、歴史への関心を高めるとともに、文化財保護の重要性に気付く。	○	○	○	○
	5	25	○律令国家の形成	我が国において国家が形成され律令体制が確立する過程、隋・唐など東アジア世界との関係、仏教文化に着目して、古代国家の形成と展開、文化の特色とその成立の背景について考察する。	○	○		○
	6		<第1回考査>			○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	a	b	c	d
前期	7	12	○貴族政治と国風文化	東アジア世界との関係の変化、荘園・公領の動きや武士の台頭など諸地域の動向に着目して、古代国家の推移、文化の特色とその成立の背景及び中世社会の萌芽について考察する。	○	○		○
	8 9	10	○中世社会の成立	武士の土地支配と公武関係、宋・元などとの関係、仏教の動向に着目して、中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景について考察する。	○	○		○
	10	10	○武家社会の成長 〈第2回考査〉	中世の諸地域の動向、日明貿易など東アジア世界との関係、産業経済の発展、庶民の台頭と下剋上、武家文化と公家文化のかかわりや庶民文化の萌芽に着目して、中世社会の多様な展開、文化の特色とその成立の背景について考察する。	○	○		○
後期	11	10	○幕藩体制の確立	ヨーロッパ世界との接触やアジア各地との関係、織豊政権と幕藩体制下の政治・経済基盤、身分制度の形成や儒学の役割、文化の特色に着目して、近世国家の形成過程とその特色や社会の仕組みについて考察する。	○	○		○
		10	○幕藩体制の展開	文治政治への転換に至った背景をとらえるとともに、幕政の展開をその問題点とともに理解する。また、幕藩体制下の農業など諸産業や交通・技術の発展、町人文化の形成、欧米諸国のアジアへの進出、学問・思想の動きに着目して、近世の都市や農山漁村における生活や文化の特色とその成立の背景、幕藩体制の変容と近代化の基盤の形成について考察する。	○	○		○
	12	8	○幕藩体制の動揺 〈第3回考査〉	封建経済・領主財政の再建をはかった幕府・諸藩の改革が、かえって農村を疲弊させ、農民や都市下層民の抵抗をまねき、封建社会の危機を深めたことを理解する。欧米列強のアジア進出とその対応の変化が幕藩体制や鎖国制に及ぼした影響について考察する。幕政改革の失敗に対し、同時期の改革に成功した西南雄藩が幕末政局の主導権を握っていくことを展望する。	○	○		○
後期	1	15	○近代への胎動	欧米列強のアジア進出とその対応の変化が幕藩体制や鎖国制に及ぼした影響について考察する。	○	○		○
	2	25	○近代・現代の日本	最後に2年次に学習した日本の近代・現代について振り返る	○	○	○	○
	3							